

令和 4 年度 第 4 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

日 時 令和 5 年 1 月 1 6 日 (月) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 2 0
場 所 W E B 会議
構 成 員 8 名 (出席者 7 名)

(幹事会委員) 以下は「幹事会幹事会運営に関する申し合わせ」第 2 条の号数

1 号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
2 号委員 (沖縄県立中部病院)	吉田 幸生 (朝倉委員の代理出席)
2 号委員 (那覇市立病院)	宮里 浩
3 号委員 (沖縄県立宮古病院)	松村 敏信
3 号委員 (沖縄県立八重山病院)	菊池 馨
3 号委員 (北部地区医師会病院)	柴山 順子
4 号委員 (琉球大学上原キャンパス事務部総務課長)	仲本 律雄

(欠席者)

4 号委員 (沖縄県保健医療部)	新城 光雄
------------------	-------

(陪席者)

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	新垣 真太郎
琉球大学病院診療情報管理センター	有賀 拓郎
がんセンター	石川 千穂

議事要旨・委員一覧

会議に先立ち、増田議長から幹事会委員及び陪席者の紹介があった。

1. 令和 4 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月3日開催)について
2. 令和 4 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11 月 1 8 日開催)について
3. 令和 4 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月18日開催)について

増田議長から資料 1 から資料 3 に基づき、令和 4 年度第 3 回幹事会議事要旨 (令和 4 年 1 0 月 3 日開催)、令和 4 年度第 3 回協議会議事要旨及び議事録 (令和 4 年 1 1 月 1 8 日開催) について報告があった。

4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和 5 年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から資料 5 に基づき、令和 5 年度の協議会・幹事会の開催の日時について確認があった。

審議事項

1. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画 (当協議会案) の進捗状況について

増田議長から資料 6 (当日資料) に基づき、第 4 次沖縄県がん対策推進計画の進捗状況について説明があった。今回は第 4 次沖縄県計画 (協議会案) の中でも根幹である「がん医療提供体制等」について審議するとの説明があった。

増田議長から、資料 6-6 中間アウトカムの「医療提供体制の均てん化・集約化ができています」について、個別施策を 5 項目作成したがこれでよいかとの確認があり、宮里委員から、罹患の多いがんの均てん化について、がん種等の項目分けを考えるとどうかとの意見があった。

増田議長から、他の中間アウトカムの項目についても説明及び確認があった。

松村委員より、手術の項目について、ロボットを使用することだけが高度な手術療法というわけではないのではとの意見があった。また、宮里委員より高度な手術療法だけでなく、低侵襲な手術療法を加えてはどうかとの意見があった。続いて増田議長から、人材養成について確認があり、松村委員より資格を持った人材と言う文言を加えてはどうかとの意見があった。

有賀先生より放射線療法の項目について、「放射線治療専門放射線技師及び医学物理士または放射線治療品質管理士」との記載にしてはどうかとの意見があった。

菊池委員から薬物療法の項目について、合併症ではなく、基礎疾患と記載した方が良いのではとの意見があった。

増田議長からリハビリテーションの項目について、個別施策を1つにまとめるか、現状のまま2つにするか確認があり、現状のままにすることとなった。

有賀先生から新規に認可された医薬品等の項目について、30日以内ではなく、医薬品に関しては30～60日、医療機器に関しては1年以内等の表現にしてはどうかとの意見があり、導入期間について検討することとなった。また、宮里委員から機器や技術によって状況が異なるため、一律の期間を設けることはどうかとの意見があり、医薬品に絞って個別施策を作成することとなった。

柴山委員から社会連携の項目について、専門医療機関連携薬局がどのような薬局か質問があり、その内容について確認することとなった。

有賀先生からがんに関する研究の項目について、主体を沖縄県にしてはどうか、また、最終アウトカムである患者本位のがん医療とどう結びつけるのかとの意見があり、記載方法を検討することとなった。また、非大学の組織に県の予算が届く施策にすべきではとの意見があった。

2. 次年度の協議会活動の重点事項について

増田議長から資料7(当日資料)に基づき、次年度の協議会活動の重点事項について説明があった。

吉田先生から、膵臓がんのスクリーニング検査の援助のような、早期発見のための検診率を上げる等の取組が必要ではないか(例えば、大腸がんの二次検診の検診率がかなり低いため)との意見があった。

増田議長から、新規の案件については検討し、まとめて作成した後、もう一度確認依頼する旨説明があった。

報告事項

1. 患者会よりの報告

増田議長から資料8に基づき、やいまゆんたく会の活動について報告があった。また、患者支援事業について、患者会の支援に力を入れるよう沖縄県から依頼があった旨説明があった。

2. がん教育について

増田議長から資料9に基づき、学校におけるがん教育の取組について報告があった。

3. 各拠点病院等が取り組んでいるがん対策について

各病院から資料10に基づき、拠点病院として取り組んでいるがん対策について報告があった。増田議長から、協議会でも各病院から報告していただくよう説明があった。

4. 医療者調査に関する進捗状況について

増田議長から資料11に基づき、ベンチマーク部会の意見について報告があった。医療者調査に10項目ほど質問事項を追加することと、アンケートをWEBで実施し、年度明けに調査を開始する予定である旨の説明があった。

(以下については、紙面報告となった)

5. 拠点病院と診療病院のグループ指定について

6. 大腸がん死激減プロジェクトの進捗状況について

7. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

8. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

9. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

(1) 第83回がん対策推進協議

(2) 第84回がん対策推進協議

(3) 第85回がん対策推進協議

(4) 第86回がん対策推進協議

(5) 第87回がん対策推進協議

- (6)第41回予防接種・ワクチン分科会
- (7)第12回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
- (8)第59回造血幹細胞移植委員会
- (9)第21回がん登録部会
- (10)第7回がんとの共生のあり方に関する検討会
- (11)第9回小児がん拠点病院の指定に関する検討会
- (12)第8次医療計画等に関する検討会

(以下については、紙面報告となった)

部会報告事項

1. 医療部会
2. 緩和ケア・在宅医療部会
3. 小児・AYA部会
4. 離島・へき地部会
5. 情報提供・相談支援部会
6. ベンチマーク部会

以上